



- ・特許の影響力を評価
- ・公的機関で日本初の快挙



# 「TOP 100 グローバル・イノベーター 2015」

## JSTが受賞

JSTが「TOP100 グローバル・イノベーター 2015」を受賞しました。世界的な情報サービス企業のトムソン・ロイター社が保有する特許データを基に知的財産や特許動向を分析し、独創的な発明のアイデアを知的財産権で保護し、事業化に成功した企業・機関100社に贈られます。5回目となる今年は日本から世界最多となる40社が選出されました。JSTは日本の公的機関としては初の受賞です。

授与式は昨年12月3日、JST東京本部別館で行われ、トムソン・ロイター社の棚橋佳子取締役日本営業統括部長から、濱口道成理事長にクリスタルのトロフィーが贈られました。

同賞は「特許数」、「成功率」、「グローバル性（欧州、米国、中国、日本に出願している割合）」、「引用における特許の影響力」の4つの評価軸で分析して選出されます（分析対象は過去5年間。「グ

ローバル性」のみ過去3年間）。

棚橋取締役は、JSTの初受賞について「『影響力』の評価が100社中トップであった」ことを明らかにしました。それを受けて濱口理事長は、「JSTの仕事が単に特許数が多いだけではなく、その成果が着実に社会実装されて、世の中の役に立っていることが客観的に評価されたもので、何よりも嬉しい」と喜びの声をあげ、「ノーベル賞は数十年前の成果が評価されるが、今回の受賞はJSTの今現在の活動、現場の人た

ちの活力がリアルタイムで総合的に評価された証で、その意義は大きい」と話しました。

今年選出された企業・機関の数は、日本が40社、2位の米国は35社。昨年に続き、今年も日本の企業・機関の受賞数が米国を抜いて世界最多でした。ソニー、富士通、オリンパス、トヨタなど国内15社が5年連続で受賞し、12社が今年初めて受賞しました。アジアからの選出は、韓国3社と台湾1社。北米からは36社、ヨーロッパからは20社でした。



授与式の様子。左からJST 安藤理事、濱口理事長、トムソン・ロイター社 棚橋取締役、堀切シニアセールスマネージャー。